



日本共産党 京都市議員

北山ただお市会報告 2014年11月上旬号

日本共産党山科区生活相談所 山科区大手先町8-8 TEL595-8342

「北山ただおのホームページ」・フェイスブック連日更新中

九月京都市会終了

京（みやこ）プランの撤回を

「乗るたびに一定額の負担を求める応益負担」導入の敬老乗車証の改悪案に対して反対する署名は1万3千筆を超えました。高齢者の福祉と社会参加に寄与するための趣旨を堅持し、現行制度を守るよう求めました。また、老人医療費支給制度について、74歳まで1割負担を拡充し、すべての対象者への周知を図り、高齢者への支援を求めました。

「こみ収集業務7割委託とさらなる収集職員削減」案について、災害時の対応や市民サービスの後退につながる、「官製ワーキングプア」を促進するものであるとして撤回を求めました。

「これまでの廃止・民間移管に続き、新たに6か所の公立保育所の民間移管を打ち出したことに対して、党議員団は公営保育所の廃止に反対し、民間移管方針の撤回を求めました。

区役所の市税賦課業務を集約化する市税事務所設置方針は、税務相談における市民サービスの低下であり、区防災業務にも著しい影響を与えるものであり中止を求めました。

清水焼の棚まつりに参加

「今年はお天気に恵まれて人出は大変多かった。しかし財布の紐がきつい。」とのこと。消費税が10%になれば、いっそう売れなくなると不安の声がしきりでした。



染住民のまつり

京都友禅一般労働組合が中心になって取り組まれている、「第三十四回友染展 染住民の祭り」に参加しました。会場では、たくさんのお作品が展示されています。労働組合がこうした取り組みを長年にわたって続けていることに感動です。



大宅9条の会のつとめ

十月二六日、大円寺集会所で開催されました。代表委員の高谷光雄精華大学名誉教授のご挨拶の後、本庄元府議に続いて私がお挨拶と決意の一端を述べました。

第36回

山科区民もみじまつり

11月16日(日)

10:30~15:30

多彩なステージ・子どもの広場
模擬店いっぱい

山科健康友の会 定期総会

現市長の元で福祉の切り捨てが強行されていること、そのことは何でも賛成するオール与党の元で進められており、日本共産党は値上げに反対し暮らしと平和を守って奮闘していることを報告しました。

共産党積りにつくる

街頭宣伝に激励相次ぐ

来春の選挙をたたかう、本庄元府会議員、山本市会予定候補と一緒に勢揃い宣伝を行っています。「頑張つてや」「体に気を付けて」「共産党に期待してるよ」などの激励が相次ぎました。



北山ただおのつとめ

寒さが増してきましたが、皆様にはお変わりございませんか。

十月十九日、今日は素晴らしい秋日和に恵まれ、山科のほとんどの神社でお祭りが行われました。私の町内は山科神社です。子どもみこしを引く子どもさんを連れて山科神社に行き、その後御神輿巡行の出発儀式を行い、西野山一円を回りました。秋のお祭りは五穀豊穡や家内安全などを願います。暑いぐらいのお天気で、子どもみこしを先頭にトラックの荷台に乗った御神輿が続き、そのあとを神社総代さんや、私たち町内会長、関係者が続きます。一〇分ほど歩いては休憩となり、子どもたちにはジュースやお菓子が配られ、大人はビールやお茶、おつまみなどが配られて歓談です。お仕事のことやご家庭の事、ご家族のことなど近況をお聞きしたり、他愛のないお話もあります。合間に「税金が上がったらたまらんなあ」「息子に仕事がない困るわ」「今は米を作っても精が出んなあ」「保険料が上がって困ってます」など切実なお話もありました。御神輿は本殿に到着して、巡行も無事に終わりました。皆さん、お疲れ様でした。